

伝統に生きる

—あらかわの工芸技術—

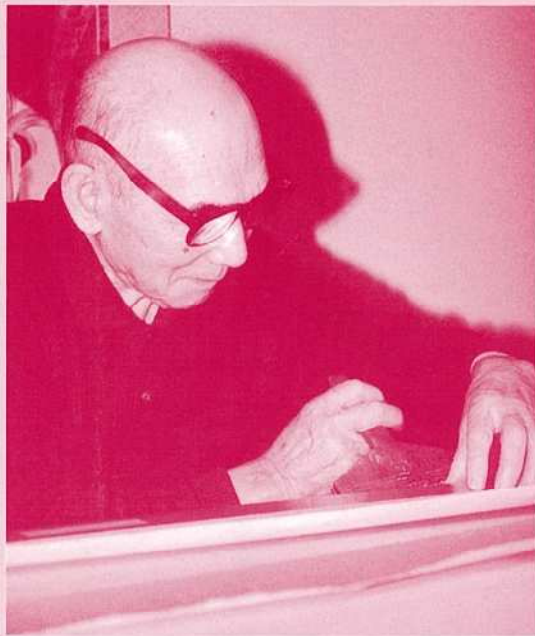


表 具

くら また じ ろう
倉 又 二 郎
(号・大晃堂)

(昭和63年度作品)

16ミリ映画・ビデオ
カラー・16分

プロフィール

住所、荒川区東日暮里5-9-8。

明治41年(1908)、新潟県生れ。

昭和60年度、荒川区指定無形文化財保持者に認定。

大正10年、本郷の桑原勇二郎氏に師事し技術を修得した。後に表具師となっていた兄、清一郎氏のもとで仕事をし、昭和6年、清一郎氏の死去に伴い、跡を継いだ。

現在地へ移ってきたのは戦後である。今日まで、数多くの弟子を育てた。新潟、千葉、長野など、日本各地で倉又さんの「わざ」が受け継がれている。

築地本願寺の金襴、深川富岡八幡宮の金襴などの大仕事も手がけており、著名な画家、書家の作品を永く保存するために、また、床の間に掛けたとき独特な書画の味わいを引き出すような工夫を心がけている。

昭和63年、第31回東京都表装作品展「東京都知事賞」を受賞。

企画 東京都荒川区教育委員会 ・ 製作 毎日映画社

用具・工具

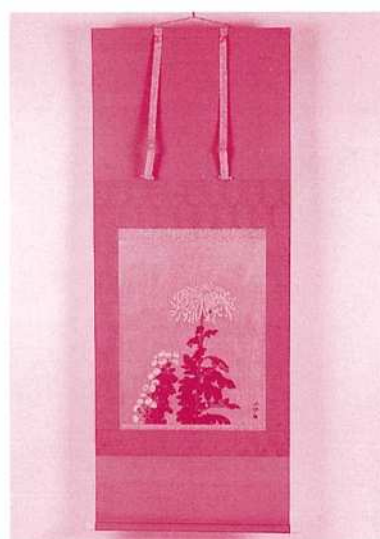
刷毛（打刷毛、しゅろ刷毛、糊刷毛、水刷毛など各種）、鋸、かんな、庖丁（丸庖丁、留切庖丁など）、耳すき（仮張りした紙の耳を切り取る）、切り出し小刀、金槌、きり、星突き（千枚通し）、筋つけ、へら、定規、糊、和紙（各種）など。

工程 — 掛軸「菊」（森田沙伊画伯の作品）の場合 —

- (1) 【取り合せ】 — 表装する裂や紙を、色・模様・性質などを考慮して選ぶこと。最初に行う作業である。
- (2) 裂の縮みや文様合せに十分な余裕を考えて裁断する。
- (3) 【水引き】 — 使用した裂が完成後に歪みやよじれを生じないように、あらかじめ刷毛を使って水で裂を縮ませる作業。
- (4) 【肌裏打ち】 — 作品や裂に直接和紙（薄美濃紙）を貼る最初の裏打ち作業。
- (5) 裏打ちの作業を何度も繰り返し、仮張りする。
- (6) 裏打ちした紙の余分な部分を慎重に切り取る。
- (7) 星突きで星穴をあける。
- (8) 【切継ぎ】 — 作品と裂とをつなぐ作業。
裂の文様合せを行ってから必要な大きさに切り、裁断したあとがほつれないよう糊どめをする。こうしてできあがった各部分を継ぎ合わせる。
- (9) 軸袋を取り付ける。
- (10) 【上裏（総裏打ち）】 — 掛軸の最後の裏打ち作業。
裏紙を【喰裂き継ぎ】の技法を使用して裏打ちする。
刷毛は、【打刷毛】とって叩くように使用する。
- (11) 上裏を張り込み、少なくとも一ヶ月してからはずす。
- (12) 【裏摺り】 — 数珠のようなものを使って、掛軸を裏からこする。
糊をなじませて密着させ、くせを直して巻具合をよくする。
裏面の艶出しやすべりをよくする効果もある。
- (13) 裏打ちの余分に出ている部分を、耳すきですいていく。
- (14) 軸を取り付ける。
- (15) 八双を取り付ける。
- (16) 風帯を取り付ける。
- (17) 掛紐を取り付ける。
- (18) 仕上げ（点検）。



（刷毛で糊つけ）



（完成した掛軸）

この記録〈ビデオテープ〉は荒川区教育委員会社会教育課及び、荒川区内の各図書館で貸し出しています。なお〈16mm映画〉は社会教育課及び、荒川区立荒川図書館で貸し出しています。どちらも貸出期間は、1回5日間です。お気軽にご利用ください。但し、〈16mm映画〉の貸出には団体登録と16mm映写機講習修了者の操作が義務づけられています。

〈問い合わせ先〉

荒川区教育委員会社会教育課……………3802-3111（内線3358）
荒川図書館……………3891-4349 町屋図書館……………3892-9821
尾久図書館……………3800-5821 日暮里図書館……………3803-1645
南千住図書館……………3807-7114